

# 桑名杯レディーステニス大会 2024 by DUNLOP

## 第 36 回 岐阜県大会

主 催	日本女子テニス連盟
主 管	日本女子テニス連盟 岐阜県支部
後 援	岐阜県テニス協会 岐阜新聞社、岐阜放送
協 賛	テニスショップ NAWA
特別協賛	株式会社 ダンロップスポーツマーケティング
大会会長	武正八重子（日本女子テニス連盟 会長）
大会委員長	名里美穂子（日本女子テニス連盟 岐阜県支部 支部長）
種 目	女子ダブルス
日 程	2024年5月8日(水) 予備日5月16日(木)
受付時間	午前9:30～10:00
会 場	岐阜ファミリーパーク(砂入り人工芝コート)
使 用 球	ダンロップフォートイエロー（大会指定球）
試合方法	「JTA テニスルールブック 2024」に準ずるトーナメント方式 すべての試合にノーアドバンテージ方式を採用 本戦6ゲーム先取 コンソレーション6ゲーム先取（敗者ボール使用） ウォームアップサービス4本 セルフジャッジ
服 装	テニスウェア(長ズボン可 ログ規定なし)
ディレクター	梅田宗子
レフェリー	牧村洋子
大会委員	安藤千賀子 岩田礼子 松下祐紀 倉知尚代
そ の 他	試合中に発生した傷害についてはその場で対応しますが、それ以後の責任は負いません。 本要項は天候等やむを得ない事情により変更することがあります。

## ☆☆注意事項☆☆

1. 受付時間までに試合のできる服装に着替え、二人そろって本部に届け出る。遅刻は失格とする。
2. 試合順序は本部掲示板を確認し、指定されたコート付近で待機する。
3. 前の試合終了後、直ちにコートに入り試合を始める。対戦相手が来ない場合はロービングアンパイアを呼ぶ。
4. ポイント間は 25 秒以内とし、エンド交代時は 90 秒以内の休憩とする。第1ゲーム終了後とタイブレーク中は休憩なしでエンドを交代する。
5. 試合終了後、勝者は直ちにスコアシートを本部に届け、次の試合の確認をする。

## ☆セルフジャッジについて（選手自身が判定とコールをします）

1. サーバーはサーブを打つ前にスコアをレシーバーに聞こえる声で言う。
2. ネットより自分側の判定とコールをする。  
ボールがラインにタッチした時、見失って判定できなかった時は「グッド」  
ボールとラインの間にはっきりと空間が見えた時は「アウト」「フォールト」
3. 相手に聞こえる声と相手に見えるハンドシグナルで速やかに行う。  
代表的なハンドシグナルは、人差し指を出して「アウト」「フォールト」、手のひらを地面に向けて「グッド」
4. ダブルスの判定とコールは、一人のプレーヤーが行えば成立する。しかし、ペアの両選手の判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。  
ただし、ネット、ストラップまたはバンドに触れたサービスを、一人が「フォールト」、パートナーは「レット（グッド）」とコールした場合は「（サービスの）レット」となる。
5. ペアの判定が食い違ったとしても「フォールト」「アウト」をコールしたプレーヤーが「グッド」に訂正し返球が正しく相手コートに入った場合、1 回目は相手への故意ではない妨害としてポイントレットにする。そして、2 回目以降は故意に妨害したとして失点する。  
ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウイニングショット・エースまたは返球が正しく相手コートに入らなかった場合は相手への妨害が起こっていないので、1 回目であってもミスジャッジをしたペアの失点となる。
6. 「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は、両プレーヤー・チームが判定とコールをすることができる。
7. サービスのレットはレシーバー側がコールする。
8. インプレー中、他コートからボールが入ってくるなどの妨害が起こった場合は、「レット」とコールしてそのポイントをやり直す。  
ただし、レットがコールされる前に打たれたボールが、コート内に正しく入らなかった場合は、そのボールを打った側の失点。明らかなウイニングショット・エースとなった場合は、そのボールを打った側の得点。  
ポイントが終了した後で、妨害があったとしてやり直しの要求はできない。  
第2サービスのモーションに入った後に妨害があった場合は第1サービスからやり直す。
9. 第2サービスからのインプレー中、第1サービスのフォールトのボールを誤って蹴飛ばした場合は、相手のプレーヤーが妨害と判断した場合「レット」をコールできる。2回目以降は、その度に相手への故意による妨害となり、失点する。
10. 次の場合はレフェリーまたはロービングアンパイアに速やかに申し出る。
  - ・ 試合中、トイレ・着替えなどでコートを離れた時
  - ・ 相手プレーヤーの言動やコール、フットフォールトなどに疑問、不服がある時
11. 試合中に発生したケガや病気の時は、レフェリーまたはロービングアンパイアに要求後、次のエンド交代時（緊急を要する場合は直ちに）、1 部位の症状につき 1 回の M T O が取れ、3 分間の手当てをすることができる。  
筋ケイレンの場合、エンド交代の時間内に限り処置をしてもよいが、M T O をとることはできない。

## ☆試合中にわからない事や困った事が起きたら

ロービングアンパイア(コート付近の通路にいます)を呼んでください。

# 桑名杯レディーステニス大会 2024 by DUNLOP

2024. 5. 8



## 第1シード

陶川香央里・林こず枝

## 第2シード

安藤美奈子・中瀬夏美

# 桑名杯 歴代優勝者

回	年	優勝者名
1	1989	鈴木桂子・小島久美子
2	1990	神戸敦子・渡辺美千代
3	1991	堀内美江子・龍口八重子
4	1992	阿部節子・伊藤政子
5	1993	葛西文代・下條美恵子
6	1994	田中久美子・糸魚川由美子
7	1995	堀靖子・若原登代子
8	1996	古田満知子・二村優子
9	1997	野水美佐子・青山衣永
10	1998	栗山友美・松原敬子
11	1999	諏訪且子・白木真由子
12	2000	河合久子・五藤克子
13	2001	安藤千賀子・近藤洋子
14	2002	信田恵美子・田辺理香
15	2003	石田裕美・杉下美恵
16	2004	白岩美幸・古屋さつき
17	2005	羽柴知恵子・田村弘美
18	2006	小島一見・竹村久子
19	2007	浅野美恵・鈴木聡美
20	2008	後藤直子・森本寿枝
21	2009	梶田恵・小林さゆり
22	2010	森純子・渡辺里佳
23	2011	島袋道子・小路さおり
24	2012	林智美・和田洋美
25	2013	春日井寛子・佐々木夫美枝
26	2014	高阪晴代・渡邊あけみ
27	2015	倉橋祐子・野田美代子
28	2016	井上祐花理・大城佳美
29	2017	浅野輝美・伊藤益美
30	2018	木本雪子・日下部由美
31	2019	門崎朱美・岩田尚見
32	2020	広瀬里美・渡邊ひろえ
33	2021	細川美香・平野愛加
34	2022	加藤恵・木寺奈美
35	2023	長尾尚子・伊塚真紀